

保護者からの信頼度は？生徒指導と学習意欲の関係は？自分の学校はどうでしょう？

愛媛の保護者4,553名、児童・生徒5,057名にアンケート 緊急課題

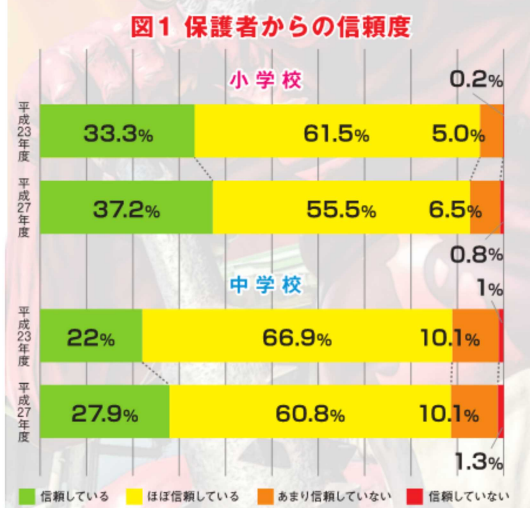
愛媛の生徒指導
平成28年3月 第48号

「4年前の衝撃」とは？
平成23年度に初めて愛媛県内の保護者・児童生徒を対象に、学校・教師に対する信頼度をはかるために実施したアンケートのことです。



刮目せよ!!

あの4年前の衝撃を覚えていますか？
さらなる信頼を得るためには？



「絶対的な信頼群」は増えている！しかし・・・
学校を信頼している保護者は、ほぼ信頼している保護者を含めると、小学校では92.7%、中学校では88.7%という結果でした。(図1)平成23年度から平成27年度にかけて、信頼している保護者が小学校・中学校ともに5%程度上昇しています。一方で、不信感を抱いている保護者が小学校で7.3%、中学校で11.4%あります。不信感を抱いている保護者をどのようにして、「信頼している」「ほぼ信頼している」群に取り込むかが、今回の重要な課題です。

生徒指導と学習指導は車の両輪!!

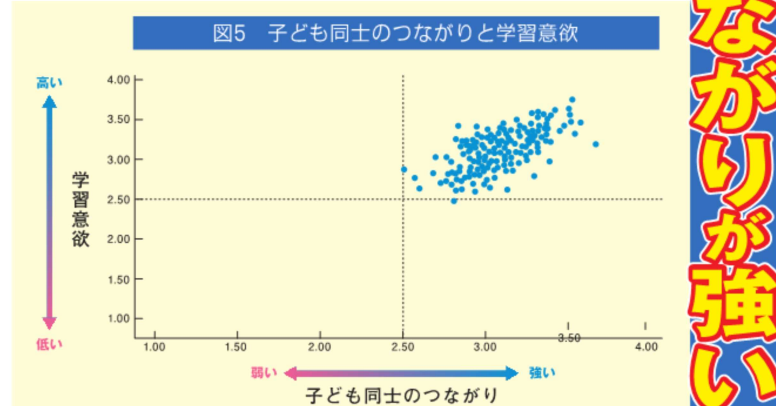
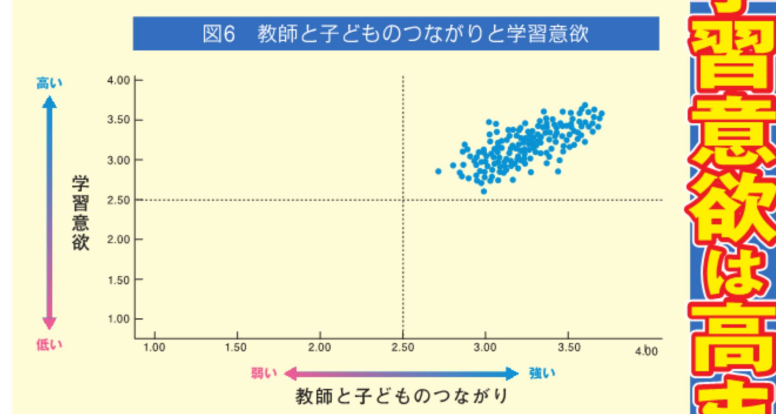


図5は子ども同士のつながりの強さと学習意欲の高さの関係を表しています。まず目を引くのが、愛媛県内の小・中学生は「子ども同士のつながり」が強いということです。そして、つながりの強い子どもほど、学習意欲も高いことが分かります。



また、図6は教師と子どものつながりの強さと学習意欲の高さの関係を表しています。この関係も図5と同様、愛媛県内の小・中学生は教師とのつながりが強く、そのつながりの強い子どもほど学習意欲も高いことが分かります。これらの項目の結果から、今まで語られてきた「生徒指導(学級経営)と学習指導は車の両輪」であるということが間違いないと確認できました。学校現場で大切にされている、子ども同士のつながりや教師と子どものつながりを強める取組が、学習意欲を高めることに関係しているようです。

つながりが強いと学習意欲は高まる!!